

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
12	東京家政学院大学	子どもと音楽	吉永 早苗 現代生活学部 教授	1	前期	木	15	10:40～12:10	東京家政学院大学 町田キャンパス	

【到達目標】

知識・理解の観点(K):様々な音楽表現活動の実践を通し、乳幼児の表現の発達を踏まえた音楽表現のあり方について理解する。
 思考・判断の観点(K):表現の基礎的な知識を生かし、子どもの表現活動に展開することができる。
 関心・意欲・態度の観点(V):共同して表現することを通し、主体的・対話的で深い学びのあり方について理解しようとする。
 技術・表現の観点(A):表現の基礎的な知識を生かし、子どもの表現活動に展開することができる。

【授業の概要】

乳幼児期に育みたい資質能力を理解し、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されたねらいおよび内容に基づいた、乳幼児期の表現活動を支援するための音楽的表現活動のあり方について講義する。様々な音楽表現の実践を取り入れ、事例を通して乳幼児の音楽表現について解説する。また、音楽の基礎理論についての講義も行う。

【授業内容】

1. 乳幼児の発達と生活や遊びの中での音楽表現①:身の回りの音の感受と表現、わらべうたあそび①
2. 乳幼児の発達と生活や遊びの中での音楽表現②:人の声の感受と表現、わらべうたあそび②
3. 乳幼児の発達と生活や遊びの中での音楽表現③:音・声が音楽的になっていくということ、わらべうたあそび③
4. 乳幼児の豊かな感性と表現を支えるために①:歌唱活動の実践と指導の視点、わらべうたあそび④
5. 乳幼児の豊かな感性と表現を支えるために②:楽器を用いた活動と指導の視点、わらべうたあそび⑤
6. 乳幼児の豊かな感性と表現を支えるために③:音環境を考える、わらべうたあそび⑥
7. 乳幼児の豊かな感性と表現を支えるために④:幼児期の終わりまでの育てほしい姿の視点から、わらべうたあそび⑦
8. 乳幼児の音・歌遊びを学びの視点からとらえる①:リズム遊びの展開、わらべうたあそび⑧
9. 乳幼児の音・歌遊びを学びの視点からとらえる②:歌遊びの展開、わらべうたあそび⑨
10. 乳幼児の音・歌遊びを学びの視点からとらえる③:楽器遊びの展開、わらべうたあそび⑩
11. イメージを表現する①:楽器の響きを追求する。手作り楽器に応用する
12. イメージを表現する②:視覚からのインプットを聴覚的表現に変容させる
13. イメージを表現する③:聴覚からのインプットを視覚的表現に変容させる
14. イメージを表現する④:幼児と楽しめる歌の創作
15. 発表と総括:創作した歌を発表する、幼児の音楽的表現を育む ICT 活用について、総括

【成績評価方法】

講義ではリフレクションシートを配布し、学習内容の理解、講義への意欲・態度等を評価します。個人発表、グループ発表は、講義内容の理解と応用力、取り組み方、表現力等の視点で評価します。私のテキストとは、講義内で紹介したわらべうたあそびについて、その楽譜とあそびかた等をまとめたものですが、知識・理解・思考・判断の状況を判断します。
 リフレクションシート(40%)、発表(30%)、「私のテキスト」(30%)で評価する。

【教科書】

無藤隆監修・吉永早苗著(2016)『子どもの音感受の世界ー心の耳を育む音感受教育による保育内容「表現」の探求』萌文書林
 高倉秋子(著), 島田和昭(著)『うたってひいて 童謡びっこりーの』共同音楽出版社

【参考書、教材等】

特になし

※ この授業は、4/14(木)が初回です。